

1

医療・介護事業者に対する訪問前の事前準備としては、どのようなことを行うべきか

● 結 論 ●

ホームページより当該機関に関する情報を収集する。業界動向に関する話題を新聞、雑誌、専門誌等を通じてチェックする。また医療法人の場合、都道府県庁や保健所（都道府県によって異なる）などにて財務諸表の閲覧を行う。

● 解 説 ●

1 インターネットを利用した事前準備

医療・介護事業者への訪問準備にあたって、当該機関がどのような診療科目を掲げているか、どのような介護サービスを行っているのかなど、診療内容や介護サービスにどのような特徴があるのか、事前に当該機関が開設しているホームページを閲覧し、ある程度の情報を収集しておくことが、面談をより有効なものとするために重要である。

医療・介護事業者がホームページを開設していない場合、各都道府県が開設している医療情報ネットや介護サービス情報公表システムを利用したり、保険医療機関の場合には、各地方厚生局が開示している「保険医療機関指定一覧」や「施設基準の届出受理状況等」も参考にするとよい。

2 専門誌・雑誌からの情報収集

専門誌や雑誌を利用し、医療・介護に関する最新トピックスを頭に入れておくことが重要である。参考となる専門雑誌の例として以下があげられる。

- ① 「日経ヘルスケア・日経 BP 社発行」……制度改正、報酬改定を中心とした医療・介護の行政動向が提供されている専門誌。
- ② 「日経メディカル・日経 BP 社発行」……臨床医向けの医学医療情報誌。医学研究情報や医療行政情報が充実。
- ③ 「医療経営 Phase 3（フェイズスリー）・日本医療企画発行」……医療関

連サービス企業の動向等を提供する“病医院経営情報誌”。

- ④「ばんぼう・日本医療企画発行」……主に開業医を購買層のターゲットにしている総合医療情報誌。
- ⑤「病院情報・医事日報発行」……各病院の所在地、患者数、在院日数、従業員数、理事長等の役職・氏名・最終学歴・卒業年度、特色など詳細情報を掲載。

上記にあげている専門誌はほんの一部であるため、書店等に足を運び、医療専門書コーナーやビジネスコーナーを中心に、自分自身で内容を確認する。また、日々の新聞に目を通し、医療・介護関連の記事によく目を通しておくことが重要である。

加えて患者視点での情報収集の観点から、医療・介護事業者の診療実績や運営実態を指標化し、ランキング形式で紹介している新聞・雑誌等も増加している。特に医療系については、手術実績等のデータを収集して比較しているものもあり、客観的なデータの比較という点において有用である。

3 財務諸表の閲覧

平成19年4月、改正医療法施行に伴いディスクロージャー（情報公開）が強化され、医療法人の都道府県等に提出する財務諸表（事業報告書・財産目録・貸借対照表・損益計算書・監事の監査報告書）の閲覧が可能となった。市役所または都道府県庁の医事課・厚生課や保健所などにて閲覧ができるので、事前準備にあたり、訪問しようとしている医療法人の財務内容を調べておくことも可能である。なお、情報を開示していないことに対する罰則はないため、情報公開していない医療法人もまれにある。また、社会医療法人についても、所管の市役所や都道府県庁において、財務諸表の閲覧が可能である。

なお、社会福祉法人についても26年4月以降、社会福祉法によりインターネットを活用した現況報告書ならびに貸借対照表および収支計算書の公表が義務づけられており、各社会福祉法人や所轄庁のホームページに掲載されている。

4 取引の有無

通常の事業法人を訪問する際も同様であるが、訪問を検討している医療・介護事業者について、自行（庫・組）と取引関係がない場合は、その理由を確認する。過去のトラブルや地元風評等が原因となっているケースもあるため、事前に把握しておくべき事項といえる。